

News Release

環境省による生物多様性保全のしくみ 自然共生サイトに「あさひ・いのちの森」認定

富士市田子の浦地区の原風景再生を通じて地域の生物多様性保全へ貢献を目指す

旭化成株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:工藤 幸四郎)および旭化成ホームズ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:川畑 文俊)は、国際的な生物多様性保全目標 30by30 への取り組みとして環境省が初めて認定する自然共生サイトに、「あさひ・いのちの森」が認定されたことをお知らせします。

【30by30(サーティ・バイ・サーティ)とは】

2030 年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる(ネイチャーポジティブ)というゴールに向け、2030 年までに陸と海の 30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。

【自然共生サイトとは】

環境省が令和 5 年より開始した「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を環境大臣が認定する制度で、この度、全国(35 都道府県)で「あさひ・いのちの森」を含む 122 ヶ所が初めて認定されました。今後、この認定区域は、保護地域との重複を除き、「OECM^{※1}」として国際データベースに登録される予定となっています。

※1: OECM(Other Effective area based Conservation Measures)・・・保護地域以外で生物多様性保全に資する地域

環境省自然共生サイト HP: <https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>

【「あさひ・いのちの森」について】

「あさひ・いのちの森」は、静岡県富士市の旭化成(株)富士支社内で、富士市沿岸部の原風景の再生を目指して 2007 年に開始した環境再生ゾーンです。入念な事前調査を経て、旧工場跡の完全な更地に、従業員・地域有志 1,900 人余による植樹をもってスタートしました。以降、専門家と共に綿密な緑地維持・管理計画を着実かつ継続的に実施することで、静岡県の希少植物を含む多様な動植物の定着に成功しました。



「あさひ・いのちの森」(2019 年 8 月撮影)



「あさひ・いのちの森」現在の状況

【あさひ・いのちの森から生まれた「まちもり」】

「あさひ・いのちの森」で得た植生の知見を活用し、住宅の外構計画向けに独自開発した植栽手法が「まちもり」です。高木・中木・低木・地被植物という高さの異なる階層の植栽を組み合わせることにより、そこに鳥や昆虫などの多様な生き物が集まり易くなります。そして、「まちもり」を搭載した住宅と、街中にある街路樹や公園などの緑とが繋がることで、より豊かな生態系が育まれ、地域一帯に「エコロジカル・ネットワーク」を形成していきます。旭化成ホームズグループは、「まちもり」を住宅やマンション、地域開発などの様々な事業活動に取り入れて、都市の生物多様性保全の活動を推進していきます。



「まちもり」の基本となる植栽の階層構造

【背景】

生物多様性条約第15回締約国会議(CBD-COP15)において、2030年までの新たな世界目標である「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択されました。この新たな世界目標に30by30が盛り込まれ、目標達成に向けて、国は2022年4月に「30by30ロードマップ」を公表しています。30by30ロードマップでは、国立公園等の保護地域の拡張に加え、OECMを設定することが主要施策とされています。

当社は、2022年4月より、「生物多様性のための30by30アライアンス」に参加しています^{※2}。環境方針として、「脱炭素社会とレジリエンスの推進」「サーキュラーエコノミーの実現」「ステークホルダーと共に進める自然共生」を柱に、「お客様のいのち・暮らし・人生」全般を支えるLONGLIFEな事業活動を通じて、サステナブルな社会を実現する為に、次世代に豊かな地球環境を引き継ぐことを掲げています。特に自然共生については、生物多様性の保全における知見をより高め、ステークホルダーと共に豊かな自然と調和する暮らしの実現を目指しており、生物多様性の保全により一層貢献していきたいと考えております。

※2: 関連リリース:環境省による「生物多様性のための30by30アライアンス」に参加

<https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/press/20220408/index/>

「あさひ・いのちの森」関連 HP: https://www.asahi-kasei.co.jp/j-koho/j-env2/mori-ppt2017_all.pdf

【問い合わせ先】

旭化成ホームズ株式会社 広報室 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目 105 番地
(電話)03-6899-3010 (FAX)03-6899-3400 (メール)j-koho@om.asahi-kasei.co.jp